

一八五四番

うぐひすの 木伝う梅の うつろへば 桜の花  
の 時かたまけぬ

一八五五番

桜花 時は過ぎねど 見る人の 恋の盛りと  
今し散るらむ

一八五六番

我がかざす 柳の糸を 吹き乱る 風にか妹が  
梅の散るらむ

一八五七番

年のはに 梅は咲けども うつせみの 世の人我  
し 春なかりけり